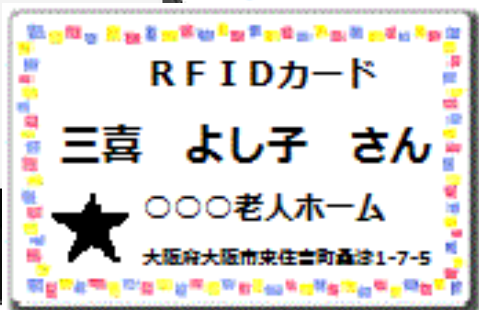




楽っく

RFID介護支援情報
パッケージ・システム



介護に携わる全ての人が
しあわせな人生を
送るために



- ・介護職員が不足し、介護シフトが頻繁になっ
てしまい、利用者の介護情報の引継ぎ
に問題がでるかも・・・心配だ！



- ・職員だけでは手不足でパートなどの
臨時職員が多くなり、利用者の情報管理が
難しいと感じる・・・どうしよう！

- ・介護情報は、忙しい合間に事務室に戻って
カルテに書き込むのだが、面倒でついつい
後回しになってしまう・・・良くないなあ！



貴方の介護施設では

職員の確保は？

介護の習熟度は？

利用者の満足度は？

書類・情報管理は？



貴方の介護施設では

職員の確保は？

介護の質は？

利用者の満足度は？

システム・情報管理は？

楽らく

システムが解決いたします





楽しく



で実現できること

- 利用者様の心身状態をすべての職員が共有でき
介護事故・医療事故・誤薬を防止します。
- 手書きカルテ・パソコンよりも、携帯端末で
いつでも・どこでも・誰もが、簡単・確実に
日々の記録を記入・確認できます。
- 経験・馴れ・記憶に頼らない、データー中心の
お世話で、個別介護を早期に養成できます。

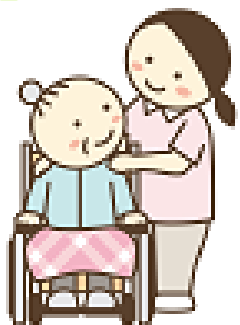


楽しく システム

その効果

“楽しく” ラク効果 ①

利用者の皆様、こんな心配事はありませんか？

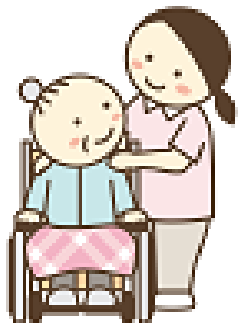


- ・ 一人の職員が複数の利用者様を担当されたり
頻繁に担当替えがあり、職員の方々はその都度
私たちの状況をちゃんと覚えておられるのかなあ？
- ・ 私たちの健康状態・基本動作・介助方法などを
担当職員の方々に正確に把握して頂かないと
重大な介護事故につながるかも・・・
- ・ 万一、夜間搬送などの緊急時の医療機関との連携の際
私たちの近々の健康状態を報告される時などに
医務室などに保管されているカルテ資料を取りに
行っている、その間になあ・・・

“楽っく” ラク効果 ①

利用者の皆様、こんな心配事はありませんか？

“楽っく” を導入すると



**利用者様
安心の声**

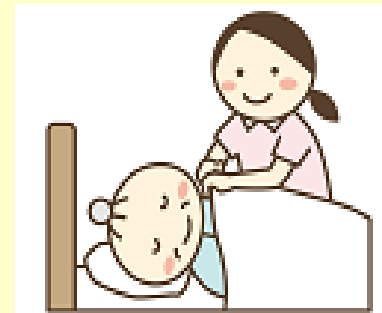
**職員の皆様が、私たちの心身の状態を
きちんと理解して頂いています。**

職員の方々が、利用者様の個別状況を、いつでも・簡単・正確に確認できるので、利用者様は適切な支援をいつも安心して受けていただくことができます。

“楽っく” ラク効果 ②

職員の皆様、こんなご苦勞はありませんか？

- ・ 職員の皆様は、常に業務に追われ、利用者様の個々のご要望に充分に応えることが難しく、コミュニケーションをとる時間も作れずに残念だ。
- ・ バイタル・飲水・食事・排泄状態を毎日記録する作業は複数の利用者様の対応を終えてからでないことができず、正確に記録をしていなかったり、記入漏れがあったりする。
- ・ 申し送り内容を覚えきれず、何度も「申し送りノート」を確認して対応している。



“楽っく” ラク効果 ②

職員の皆様、こんなご苦勞はありませんか？

“楽っく” を導入すると

事務作業から開放！ 介護に専念できます。

携帯端末で記録が介護現場で簡単にでき、時間に余裕ができて、利用者様とのコミュニケーションの時間も作れます。また、記入漏れミスが失くなり、より正確なデータを記録する事ができます。

- ・ 申し送り内容を覚えきれず、何回も「申し送りノート」を確認して対応

**職員様
喜びの声**



“楽っく” ラク効果 ③

経営者の皆様、こんな課題はありませんか？

RFIDカードを採用するメリット



- ・ 見えなければならぬ情報（識別・特記事項）と見えてはいけない情報（個人情報）を、介護職員は常に携帯、確認できるようになります。
- ・ ネットワークやクラウドでは、利用者様の個人情報のセキュリティ確保が難しいのですが、ICカードを活用することで情報管理が容易に実施できます。
- ・ **楽っく**システムでは、ICカードは再使用できるのでショートステイなどの短期間の利用者様に使用してもコストの低減が図れます。

“楽っく” ラク効果 ③

経営者の皆様、こんな課題はありませんか？

RFIDカードを採用するメリット



“楽っく” を導入すると

低コスト・低経費で
安心介護を楽に運営

- ①情報共有で新規職員も短期に養成できます。
- ②見える化情報の提供で本人・家族も安心。
- ③NETに接続しないので安価で確実な情報セキュリティを構築します。

経営者様
納得の声

①新規職員の即戦力化を安価に実現

I. 新人研修期間の短縮（従来の1/3～半分）

新規採用職員
の標準研修期間



何十人かの利用者の個別
ケアに対応する職場の戦力

通常最低でも3ヶ月



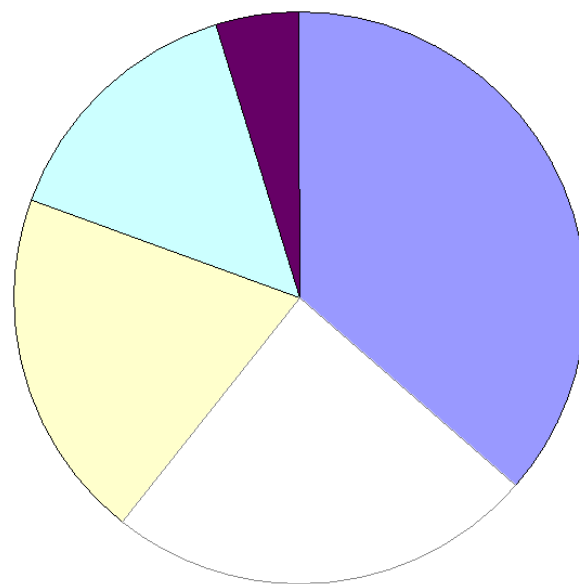
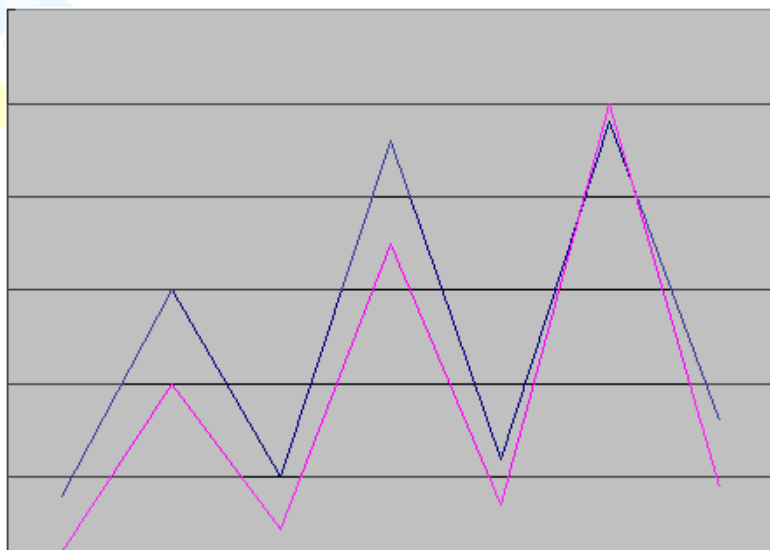
楽つくシステムの活用で
1～1.5ヶ月



②見える化情報の提供で家族も安心

Ⅱ. データーの見える化(健康状態をグラフ化)

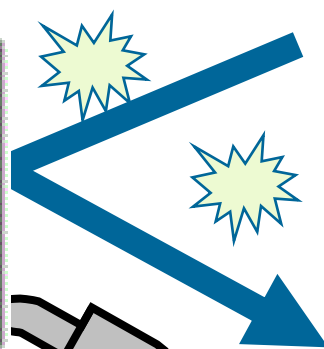
記録データーはパソコンに蓄積され、利用者の健康状態をグラフ化して分析可能にし、印刷したものを提供することで利用者のご家族へも安心を提供できます。



③情報セキュリティ強化を安価に実現

Ⅲ. 情報セキュリティ強化(見える情報と見えない情報)

「見えなければならぬ情報」と「見えてはいけない情報」をリライト可能なRFIDカードを活用することで、個人情報のセキュリティを強化しつつ、担当職員には必要時に簡単に共有できるシステムを、安価でご提案いたします。





楽しくシステム

業務全体の流れ

“楽しく”システム 業務の流れ

「全体」

介護ステーション内

介護現場

利用者様居室

事前準備

- ・利用者様情報の登録
- ・利用者ICカードの作成

業務の流れ I (現場作業)



- ・申し送り内容の確認
- ・利用者様の健康状態の確認
- ・介助方法の確認



業務の流れ II (引継ぎ)

- ・申し送りの入力
- ・健康状態を分析
- ・携帯端末とPCの同期
- ・申し送りデータをICカードに入力

- ・本日の健康状態の入力

業務の流れ III

- ・ICカードの回収
- ・ICカードの配布

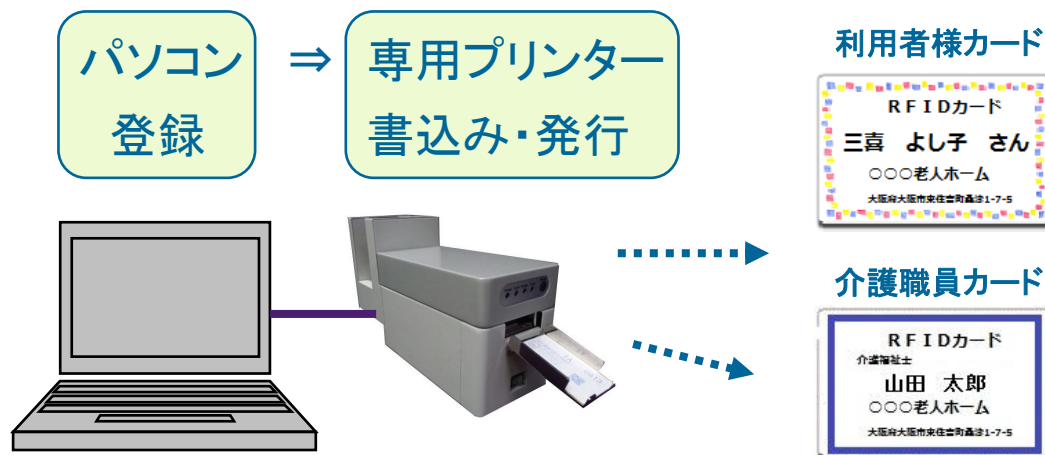


“楽っく”システム 業務の流れ 「事前準備」

介護ステーション内

事前準備

- ・利用者様情報の登録
- ・利用者カードの作成



- ①利用者様のフェイスシートをパソコンから登録
- ②業務に必要な情報を“IC利用者カード”に転送
- ③携帯端末で読み書き

健康状態				
氏名	三喜 よし子 様	性別 女性	年齢 74歳	
要介護認定	要介護4	障害者手帳/等級		
日常生活自立度	寝たきり度	B1	認知症度	II b
障害の状況	言語障害、手指振戦、突進歩行、嚥下障害			
現在の主な疾患	パーキンソン病、骨粗鬆症、認知症軽度			
服薬	朝	昼	夕	眠前
	パーキンソン病治療薬・骨粗鬆症治療薬		パーキンソン病治療薬・骨粗鬆症治療薬	
既往歴	左大腿骨頸部骨折：平成24年9月			
平常時バイタル	BP 120/90	P 80/分	KT 35.8℃	
基本動作	介助方法		備考	
コミュニケーション	言語障害：ワープロ・筆談			
体位変換	自立			
起居介助	自立			
移動介助	手すり・歩行器使用 長距離：電動車いす			
移乗介助	要見守り			
更衣介助	自立 要見守り			
清潔介助	洗顔・整髪：自立			
食事介助	主食：お粥、副食：刻み 自力摂取			
排泄介助	尿意・便意：有 おむつ使用 排尿・排便：自立			
入浴介助	自立 要見守り			

“楽しく”システム 業務の流れ 「現場作業」

□利用者カード ⇔ 読み書き



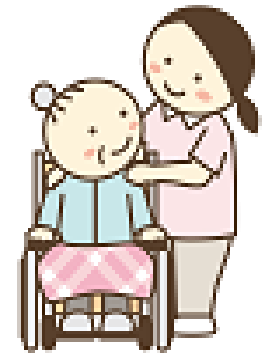
□職員用カード ⇒ 読取



介護現場

業務の流れ I (現場作業)

- ・申し送り内容の確認
- ・利用者様の健康状態の確認
- ・介助方法の確認
- ・本日の健康状態の入力



■介護現場では

担当職員が携帯端末で職員カードでID承認を取得後、利用者カードで申し送り事項や特記内容を読み込み、利用者様の本日の健康状態を確認・分析し、本日のバイタル・食事・排泄などの記録を携帯端末から利用者カードに入力



楽らくくを使えばその場で簡単入力&チェック

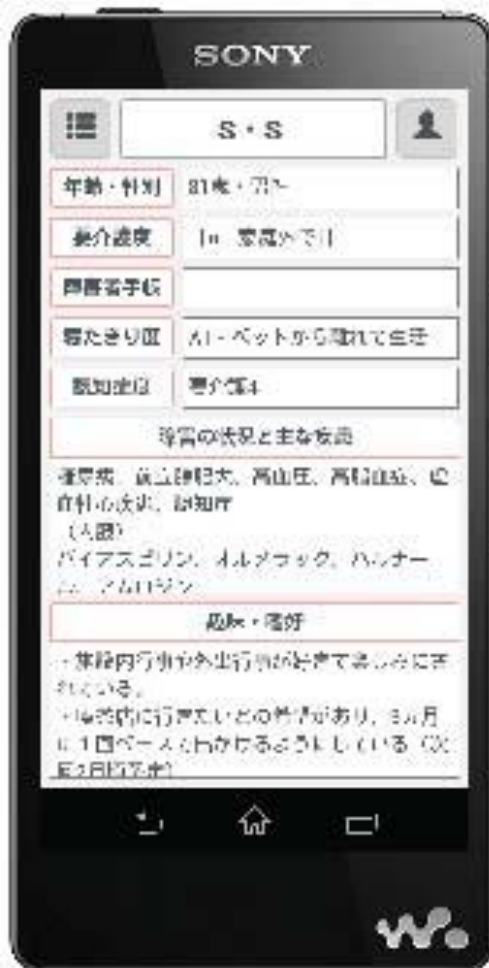
記録業務が「楽な入力」で簡単
正確な情報がいつでもOK!
個人情報ガードもガッチリ



- 利用者様の心身状態を全ての職員が共有でき、介護事故・医療事故・誤薬を防止
- 手書きよりも、パソコン・タブレットよりも、携帯端末から簡単に日々の記録ができる



携帯端末 実際の画面



“楽っく”システム 業務の流れ 「引継ぎ」

介護ステーション内

介護現場

利用者様居室

業務の流れⅡ（引継ぎ）

業務の流れⅢ

・携帯端末とPCの同期

・健康状態を分析

・申し送りの入力

・送りデータを入力

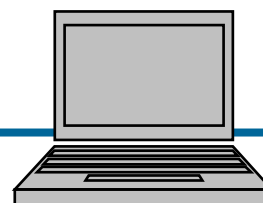


・ICカードの回収

・ICカードの配布



データ更新



1. 利用者様居室から夜間にIC利用者カードを回収する。
2. 介護ステーションで、パソコンデータを更新・同期すると同時に、申し送り事項のある利用者様の最新情報をカードに書き込む。
3. 終わったらIC利用者カードを利用者様居室のカードホルダーに戻す。

“楽っく”システム 業務の流れ

「引継ぎ」

介護ステーション内

介護現場

利用者様居室

業務の流れⅡ（引継ぎ）

- ・携帯端末とPCの同期
- ・健康状態を分析
- ・申し送りの入力
- ・送りデータを入力



業務の流れⅢ

- ・ICカードの回収
- ・ICカードの配布



データ更新



申し送り事項のある利用者様のICカードに
“注意マーク”を印字して介護職員の注意を
喚起することもできます。



楽らくシステム ^{パッケージ}1ユニットの機器構成

介護ステーション内

ICタグに
リライトのできる
プリンター1台



既設のパソコン

これだけで
OK!

介護現場



介護情報の
入出力が
簡単にできる
携帯端末 5台
職員用ICカード
白地20枚



利用者様居室

利用者用
ICカード
白地30枚



以上が **楽**っくの概要です

このICタグを利用した情報管理システムは
介護現場での情報を、

簡単に・即時に・正確に・情報管理の下に
伝達できる支援システムです。

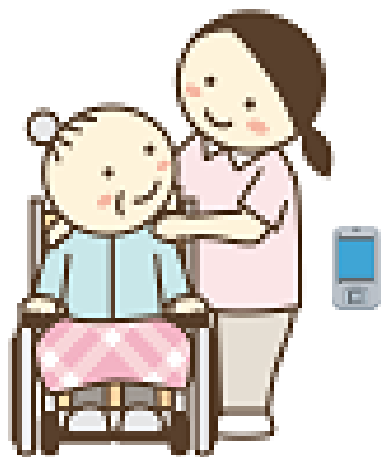
貴方の介護施設において、

- ★よりの的確なお世話の実現を、
- ★★職員様の介護レベルを高めることを、
- ★★★結果、経費削減に役立てて頂きたいのです。

詳しくは弊社係員にお尋ねください。

ご覧頂き、ありがとうございました

弊社スタッフが心を込めて開発した
介護情報支援パッケージ “**楽っく**” システムを
より多くの施設でご活用頂くことにより
利用者様が安心して介護生活を過ごされますように
頑張っております



楽っくラク

ICタグ用ライト・プリンターとRFIDシステム開発の

三喜鋳螺株式会社

